

健康診断について

【ご意見・ご要望】(投稿日: 2026年4月16日)

健康診断についての要望です。

本日、健康診断を受けたところ、医師問診の手前の簡易的な問診の箇所で、仕切りもなく他の学生もすぐ隣にいて、開けているという環境であるにも関わらず、過去の精神疾患の既往歴、その他センシティブな要素を含む持病についてある程度詳細に尋ねられるということがありました。

病歴、特に精神疾患の既往歴はプライバシー保護の必要性の高いセンシティブな情報です。また、基本的には健康診断は同じ所属の学生と同時に受けることになっているため、身近な学生にセンシティブな健康情報を知られてしまう可能性も非常に高いです。

事前に各自でオンライン上で問診票を提出しているのですから、それをもとに医師問診が必要かどうか事前に振り分けておく等の対応はできないでしょうか。あるいはせめて、簡易的な問診のエリアでも仕切りを設ける等していただきたいです。

検討のほどよろしく願いいたします。

【回答】(回答日:2026年5月18日)

(回答部署:保健衛生掛)

この度は、健康診断の問診におけるプライバシー配慮について、貴重なご意見をいただきありがとうございます。

ご指摘の通り、既往歴を含む健康情報は極めて機微なものであり、周囲に他者がいる環境での確認は、受検者の心理的な負担に配慮すべき事項であると認識しております。

現在、短期間に多数の学生が受検する過密な日程の中では、オンライン問診の結果を用いた事前の動線分離やデータ照合を即座に運用へ組み込むことが、物理的・時間的な制約から困難な状況でございます。

ご提案いただいた運用を直ちに実施することは叶いませんが、本件を真摯に受け止め、まずは現場で実施できそうな以下1、2の対策を徹底してまいります。

1. 会場環境の整備:

簡易問診エリアにおいて、パーテーションの設置や待機列との間隔調整を順次行い、会話内容が周囲に漏れないよう環境の改善に努めます。

2. スタッフへの対応周知:

問診にあたる医師・看護師に対し、センシティブな内容を確認する際の声量の調整や、必要に応じた筆談の活用など、プライバシーに配慮した対応を改めて徹底いたします。

3. 今後のシステム検討:

Web 問診データをより円滑に現場のオペレーションへ反映できる仕組みづくりについて、次年度以降の重要な検討課題といたします。

なお、集団受検に対して強い不安をお持ちの方は、個別に配慮を検討できる場合もございます。ご不安な点がございましたら、事前に健康管理室の看護師までご相談

ください。

今後とも、円滑かつ安心して受検いただける環境づくりに取り組んでまいります。この度は貴重なご指摘をありがとうございました。